## 新型コロナウイルス感染症対策対応チェックシート R5.3.13改訂

- ・事前に本チェックシートの対応項目を必ずご確認いただき、ご利用の際には対応項目を遵守してください。
- ・ご利用の際は、チェックシートの各項目をチェックし、事前に提出してください。

	対応項目	チェック
1	感染症防止対策の実施に責任を持つ「対策実施責任者」を選任する	
2	参加者の中に感染者が発生した場合には、速やかに施設管理者に報告し、保健所が実施する調査に協力する(飛騨保健所な0577-33-1111 内線302)	
3	(基本的対処方針に基づく特定都道府県及び重点措置区域に指定された場合のみ) イベント・会議等を開催する場合は参加者名簿を作成し施設管理者に提出する	
4	施設管理者が実施する感染防止対策の取組みに従って利用する	
5	各施設の収容定員を遵守する	
6	会場内及び受付などでは適切な間隔確保を行い密集・密接を回避する	
7	定期的に外気を取り入れるなど室内換気を適切に実施する	
8	利用当日に検温することとし、発熱その他風邪症状などがある方は参加しないこととする 陽性者又は濃厚接触者となり自宅待機要請されている方は参加しないこととする	
9	会場入り口に消毒液を設置し手指の消毒を徹底する(主催者にて消毒液をご用意ください。)	
10	マイクの使いまわしを控え複数名で使用する場合は都度の消毒を徹底する	
11	県有施設の利用が制限された場合は、延期・中止・時間短縮等の要請を踏まえて開催のあり方を 見直す	
12	関係団体が策定する「業種別ガイドライン」を遵守する	
13	利用当日に施設職員が巡回して実施状況を確認することに同意する	
利用内容が以下に該当する場合は該当項目についても確認及びチェックをしてください。		
■スポーツ等で利用する場合		
14	競技団体や学校などでガイドラインを定めている場合はガイドラインに則って利用する	
■来場者・観客が入場する催しを開催する場合		
15	チケットの販売及び物販を対面で行う際は飛沫防止対策に留意する 入場時の受付やチケットもぎりを行う際は接触機会を低減し消毒を徹底する	
16	舞台上の位置から客席最前列までの距離は、感染予防に対応した十分な距離を設ける (舞台上で歌唱・発声がある場合=2m以上、但し、声楽系公演の場合=3m以上)	
17	客席での歌唱・演奏や、お客様をステージに上げるなどの参加型演出は行わない	
18	有料イベントの場合は、入場を断ったり延期・中止となった場合の払い戻し等を規定する	
■合唱・演奏等の利用が含まれる場合		
19	歌唱者同士は左右1m前後2mを目安に距離を確保し、確保できない場合はマスクを着用する ※市松状に配置する場合は斜め1.5m程度確保(最低1.2m)	
20	演奏者同士は前後左右の間隔を最低1m確保 (トランペット・トロンボーンは前後1.5m以上を確保。)	
21	各楽器やピアノ演奏の前後は手指消毒を徹底する	
22	管楽器の水抜きについては専用の布などを準備し、使用後は密閉廃棄する	
23	音出しや発声練習はステージ若しくは専用の部屋で行うこととし、共有スペースでは行わない	
このチェックシートの項目は、国や自治体の方針により変更となる場合があります。		
<u>〇利用日: 月 日 〇利用施設:</u>		
〇利用者(主催者)名:		
○対策実施責任者: ○連絡先(電話番号):		